

2018. 3

桃山学院大学 全学FD推進委員会 FD NEWS Vol.12 Faculty Development

INDEX

- 2017年度秋学期 授業改善のための「学生による授業評価」アンケート実施報告
- 「学生による授業評価」アンケート所見様式改訂について
- 2017年度秋学期開催全学FD学習会報告
- 2017年度SA・TA導入科目一覧
- 2017年度各学部におけるFD活動の紹介
- 2017年度全学FD推進委員会の取組
- 2017年度外部FD研修参加一覧



2017年度秋学期 授業改善のための 「学生による授業評価」アンケート実施報告

本学における学生による授業評価の取り組みは、1996年度に文学部により「試行」されて以後、学部単位で徐々に拡大、実施されてきました。

2002年度秋学期から全学的に実施することになり、2013年度からは担当教員が学生の学習実態を把握し、授業の問題点を抽出して授業にフィードバックできるよう改訂を行いました。

● 実施の目的・趣旨

「学生による授業評価」の目的は、授業に対する学生の率直な意見を聞き、学生と教員が協力して「わかりやすく質の高い授業」を作りあげ、教育改革(カリキュラム改革)等を進めていくことにあります。さらに、学生の学習活動に対する自覚と向上を促し、担当教員においては学生の授業への取り組みの結果を受けて、より良い授業とするための検討材料を提供することを目指しています。

● 実施状況

実施期間：12月4日(月)～12月16日(土)

実施率：実施対象科目 791科目中 754科目実施
(実施率95.3%)

回答率：45.1% (回答者数/対象科目履修者数)

所見提出率：64.2%

● 集計結果の公開について

科目毎の授業評価をクロス集計した結果を、本学ホームページで公開しています。
(詳細集計は学内からのみアクセス可能)

アンケート結果公開URL: <http://www.andrew.ac.jp/info/fd/questionnaire.html>

2003年度以降は毎年度、春学期、秋学期の学期ごとに実施することとし、その結果を「学生による授業評価報告」としてホームページ上に掲載するとともに、冊子体にまとめ、図書館等に備え学生の自由な閲覧に供しています。

2018年度より授業改善のための「学生による授業評価」アンケート 所見様式を改訂いたします

「学生による授業評価」アンケートは、2018年度春学期実施分より担当者の所見入力様式を改訂いたします。

2017年度全学FD推進委員会では、「学生による授業評価」アンケートの運用に関するガイドラインを制定いたしました。内容は、現行のアンケート実施状況を明文化したものとなります。

また2018年度実施アンケートより所見の入力様式を改訂する予定です。従来よりアンケート実施後、結果確認のうえ所見の入力をお願いしていました。所見の提出率は、年々上昇傾向にあるものの、例えば2017年度秋学期は64.2%と、必ずしも高い値とは言えません(前ページ参照)。

授業改善のための「学生による授業評価」アンケートは、よりわかり易い質の高い授業を学生に保証すること等を目的に実施するものですが、シラバスにおいて提示された授業の「目標」の達成度について、授業の当事者である担当教員と受講学生によってなされる自己点検・評価活動の一環でもあります。また、大学基準協会の認証評価の点検・評価項目においても「授業の内容および方法の改善を図るための組織的な取り組み」が求められております。授業担当者の「所見」は、「学生による授業評価アンケート」と一体となって、自己点検・評価活動を担うとともに、この点検・評価項目に対応するものでもあります。各教員の積極的な授業改善の取り組みが期待されます。

今般、全学FD推進委員会で検討の結果、2018年度より所見に加えて「改善計画」の入力をお願いいたします。「改善計画」はプルダウン方式で質問に回答する様式となっています。今回の改訂により、アンケート結果の有効活用はもとより、文部科学省補助金申請における効果も期待されます(改革総合支援事業等でのポイント加算)ので、ご協力のほど、お願い申し上げます。

以下は新たな「改善計画」入力の画面イメージです。

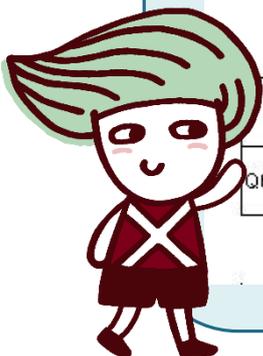
【改善計画選択】

※次学期以降の改善計画をプルダウンメニューより選択してください。

- 改善計画 ……1改善の必要は無い
- 2一部、改善する必要がある
- 3全体的に改善する必要がある
- 4どちらとも言えない

設問(「学生による授業評価」アンケートの設問より抜粋)	評点 (集計結果)	大学 平均	改善計画
Q6.授業担当者の授業に対する熱意や意欲が感じられましたか。	80.1	88.1	未選択▼

(以下、同様)



2017年度秋学期開催 全学FD学習会報告

テーマ：「学生リーダーシップ開発トレーニング体験」

日時：3月12日（月）14:45～16:15

講師：松岡 洋佑 氏（株式会社 イノベスト）

稲垣 憲治 氏（株式会社 イノベスト）

全学FD研修会は、本学の教育活動における質的向上とさらなる発展を目指し、年に数回開催しています。今回は学生も交えた「学習会」として開催しました。

今回の学習会は、学内の様々な場面で活躍する「学生スタッフ」やそれを目指す学生を対象に実施している「学生リーダーシップ育成講座」を学習会向けにアレンジし、「学生リーダーシップ開発トレーニング体験」として実施し、教職員が体験するものです。

講師には株式会社イノベストより松岡洋佑氏、稲垣憲治氏（立教大学特任准教授）をお招きしました。

参加者はグループに分かれ、「情報分有ゲーム」を行いました。このゲームをもとに、リーダーシップとはどのようなものなのか、フィードバックの重要性などについて学びました。

「情報分有ゲーム」では、本学社会学部2年次生の山本大河さん、木村友香さん、山下実莉さんがファシリテーターとして参加し、ゲームの説明や各グループのサポートを行いました。

参加者からは「ぜひ授業に取り入れたい」「もっと内容を深く知りたい」「学生のファシリテーションが良かった」などの意見が聞かれました。

学習会当日の資料はMドライブからご覧いただけます（6ページ下部参照）



参加者の感想

- ・同じようなワークを授業で取り入れたことがあります。いざやってみると難しいものです。つくづく、いかにフィードバックで気づきと学びを得てもらうかが大切かを再確認しました。
- ・リーダーシップの重要性をゲームを通じて体験できよかった。わかりやすい内容だった。授業や体験学習への活用方法をもう少し聞きたかった。
- ・「体験」というのが目新しく、ふだん考えにくい立場で受講できたのがよかったです。

2017年度SA・TA導入科目一覧

SA(Student Assistant)・TA(Teaching Assistant)制度とは？

本学では、FD活動の一環として、授業改善のためにSA・TA制度を導入しています。この制度は、学生(SA)や院生(TA)が教育活動に参加することにより、教える側と教えられる側双方の力量の向上を図ることを目的としています。

SA

学部	科目名	担当教員
経済	演習Ⅲ <通期>	辻 洋一郎
	経済学特講－モチベーションアップ講座 <秋>	辻 洋一郎
	経済学特講－初年次生向け学習方法トレーニング講座 <秋>	辻 洋一郎
	入門演習 <春>	吉田 恵子
	演習Ⅲ<通期>	吉田 恵子
	基礎演習 21 <秋>	吉田 恵子
	コース演習 19<秋>	吉田 恵子
	コース演習 23<秋>	吉弘 憲介
社会	社会福祉フィールドワーク<通期>	竹内 靖子
	地域福祉論A<春>	松端 克文
	社会福祉サービス論A<春>	松端 克文
経営	国際経営論B<秋>	櫻井 結花
法	基礎演習 <通期> (合同)	江藤 隆之
	基礎演習 <通期> (合同)	田中 志津子

TA

学部	科目名	担当教員
経済	経済学 01<秋>	木村 佳弘
国際教養	映像制作実習<通期>	南出 和余
	世界市民－開発と国際協力－<春>	南出 和余

2017年度各学部におけるFD活動の紹介

各学部研修教授会および学部FD活動の例

●経済学部

- ・「2018新入生の基礎学力レベルについて」(2017/12/6)
- ・「基礎能力検査、入学前プレースメント・テストの結果概要、初年次教育強化の流れ、初年次教育の体系化に向けて」(2018/3/12)

●社会学部

- ・「社会学部の除退率の動向」(2017/7/19)
- ・「低単位学生に対する情報共有について」(2017/9/13)

●経営学部

- ・「担任制について」(2017/4/19)
- ・「必修科目について」(2017/11/20)
- ・「経営学科教育改革について」(2018/1/10、2/7)

●国際教養学部

- ・「国際教養学部における退学防止策について」(2017/5/10)
- ・「今後のコースのあり方(1)」(2017/12/6)
- ・「今後のコースのあり方(2)」(2018/3/12)

●法学部

- ・「必修英語について」(2017/4/19)
- ・「中退予防について、必修英語について」(2017/5/10)

2017年度全学FD推進委員会の取組

1. 授業改善のための「学生による授業評価」アンケート結果活用の取り組み

●具体的な結果活用方法の検討

- ・補助金の設問にも対応可能な所見入力様式(所見+改善計画の入力必須)に改訂した。

●アンケート実施目的等の再確認

- ・「学生による授業評価アンケート」の運用に関するガイドラインを策定した。

2. SA・TA制度申し合わせ事項改訂

●共通教育機構契約教員のSA、TA制度利用、新制度の検討

- ・学部からだけでなく、共通教育機構からの申請ルートの制定検討中
(申し合わせ事項およびガイドラインの改訂)

3. 全学FD研修会

●全学FD研修会・学習会を実施

- ・全学FD研修会(2017/7/5)「海外体験学習の実践と学生の成長」
- ・全学FD学習会(2018/3/12)「学生リーダーシップ開発トレーニング体験」

2017年度外部FD研修参加一覧



日程	研修名	主催	開催場所
7/21	大人数の講義型授業で学生を授業に巻き込むための工夫	大阪府立大学 高等教育開発センター	大阪府立大学
7/25	第7回C-Learningセミナー 「授業カイゼンとFD」	株式会社 ディスコ	グランフロント大阪
8/2	授業評価アンケート事例勉強会	日本システム技術(株) GAKUEN事業部	JAST大阪本社
8/21 -22	共通教育特殊講義 ファシリテーション能力養成講座	松山大学	松山大学
12/7	今どき学生の特徴とチームビルディング の効果について	経営学部共同研究	桃山学院大学
3/3	第23回FDフォーラム	大学コンソーシアム 京都	京都産業大学
3/17	関西大学APフォーラム 「PALを盛り上げよう PALで盛り上がろう」	関西大学 教育開発支援センター	関西大学

2017年度 全学FD推進委員会 構成メンバー紹介

【委員長】井田憲計(副学長)

【委員】梅田百合香(経済学部)、松澤俊二(社会学部)、中村恒彦(経営学部)、片平幸(国際教養学部)、
早川のぞみ(法学部)、田中志津子(共通教育機構選出、法学部)、
竹島亮輔(教務課長)、叶屋真一(教育支援課長)

【事務局】延康之(学長室課長)、竹川佳佑(学長室)、平井沙恵(学長室)

発行日 2018年3月30日

発行 桃山学院大学 全学FD推進委員会 事務局

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

電話: 0725(54)3131

FAX: 0725(54)3203

電子メール: zfd-momo@andrew.ac.jp